KURUMI LETTER

Vol·17

発行日 2021.3.1

理事長より

このニューズレターが届く頃はまだ緊急事態宣言の最中かも知れませんが、いかがお過ごしでしょうか。我が家では息子が２０歳になり、１月に成人式に出席しました。コロナ禍によりオンラインによる成人式。このような厳しい状況でも「開催」して下さった川崎市関係者のみなさまに感謝しております。ただ、対面で仲間と合うことができなかったためか、何となく「物足りない」感じがあったようでした。身近なところでは地域活動が全面的に自粛となったり、近隣の飲食店が店を閉めてしまったり、日常生活で親御さんもお子さんも困ることが多くなっていたりと、やはり大きな影響を実感する日々です。早く平穏な日々が戻ってくることを願うばかりです。

さて、3月27日(土)に4年ぶりとなる「みんなの学校」上映会をエポックなかはらで開催します。このような状況だからこそ、インクルーシヴな学校づくりや社会づくりについて、考えを深め合う機会にできればと思います。ご参加をお待ちしています。

太田　修嗣

トピックス

① 10/24　プログラミング講座

② 11/07　団体説明会、おやじの会

③ 11/08　ガイドヘルパー研修

④ 11/21　ロバさんの珈琲焙煎講座

⑤ 11/26　発達障害に関わるあなたが笑顔になる講座

⑥ 11/29　みんなで有井さんのカレーを食べようⅡ

⑦ 12/23　休眠預金活用についてのシンポジウム

・　ご寄附頂いたみなさま

・　スタッフＮのつぶやき

① 10/24 デジタルアートで遊ぼう！（プログラミング講座）

くるみのおうちでの講座に初めて参加しました。二部構成の授業形式で、気持ちの切り替えもしやすい時間配分が、ありがたかったです。途中でくじけてしまう場面もありましたが、先生、参加者の皆さんともに、その特性を掴んで、見守り、本人が楽しんでいる事を尊重してくださり、救われる思いでした。

おかげさまで、最後まで皆さんと一緒に楽しんで参加することができ、親子共に充実＆達成感をもって終える事ができました。安心できるくるみのおうちで、参加させていただいた事もとても大きかったと思います。

また次回も楽しみにしています。（山本）

② 11/07 オンラインおやじの会

コロナ禍でイベントや家族間の交流ができない日々が続いている中、理事長の太田さんから「くるみに関係しているお父さんで、おやじの会をやりましょう」と呼びかけがあり、障害のある子供のお父さん５人が集まりました。

おやじの会というと、どこかの居酒屋に夜に集まって、ほろ酔い気分でお互いの家族の近況や困り事を語り合うのが一般的ですが、このご時世のため、オンラインで開催。

お子さんは中学1年～社会人、抱えている問題も異なり、いろいろと参考になる情報がありました。また長期的な子供の将来のこと、思春期問題などでは、お父さんならではの楽しいお話もありました。

一方、コロナ禍の影響で不安定な状況が続いたり、それぞれの家族の事情での苦労もあり、それでも何とか工夫して頑張っている話を聞き自分も頑張ろうと思いました。

最後にZoom上で記念撮影、あたかもその場で話しているようなホットな集まりになりました。（ゆうきパパ）

当日参加したオヤジたち

③ 11/08 ガイドヘルパー研修

横浜移動サービス協議会様からのご依頼により、ガイドヘルパー（移動支援従事者）研修の講師を担当させて頂きました。保護者と当事者の立場から、ワークも交えて計４時間お話ししました。

受講者の方は、計１５名。みなさんとても真剣に耳を傾けてくださり、質疑応答やコメントも活発でした。私からの話に加えて、同行したスタッフによるお子さんたちの障害に関するエピソードもお話し。息子は当事者の立場から「得意分野の紹介」ということで、「新幹線の駅名発表」を披露し、大きな拍手を頂きました。

最近ではコロナ禍もあり、ガイドヘルパー（移動支援）の必要性が高まっています。外出したくてもできない当事者、休む暇もなく介助が必要となっている家族が多くいらっしゃいます。それだけにガイドヘルパーに従事する方が増えることを願っています。

ご参加頂いた皆さま、横浜移動サービス協議会の皆さま、大変お世話になりありがとうございました。（太田）

④ 11/21 ロバ(※)さんの珈琲焙煎講座

※ロバさん…川崎市青少年野外活動センター・野口所長の愛称

コーヒーの焙煎講座があると聞き、焙煎に使う道具は？時間は？煎った豆は冷凍保存すればいいかな？とウキウキしながら参加。講師のロバさんによるユーモアあふれる説明を聞きながら、焙煎の工程を見て、いざ実践！何組かに分かれ交互に焙煎を開始、簡単そうに見えた焙煎はやはり技が必要。その後、豆を挽き、ドリップして飲んだ一杯は、我ながら今までで一番おいしかった(自画自賛)。同じ豆でも煎る人が違うと、別の味わい。豆は煎った後から劣化していき、その寿命は はかないそうです。冷凍して・・・という目論見はあっけなく崩れました。

おうち時間が増える今、新たな楽しい時間を見つけられ、コーヒーも煎りたて・挽きたて・淹れたての３たてが美味しいと知った一日でした。（翠香）

⑤ 11/26　発達障害に関わるあなたが笑顔になる講座

えむえむの会様のご依頼により、中原市民館にてお話しさせて頂きました。内容は、息子との二人暮らしで学んだこと、ＮＰＯ法人を立ち上げてから現在に至るまでの経緯、そしてこれからの展望について。ライフワークである「障害のある人がありのままで自分らしく生きることができる社会づくり」「障害のある子を育てる親が“この子を育てられてよかった”と思えるような社会づくり」に深く共感頂き感謝申し上げます。（太田）

＜参加者の声＞

・企業に勤めながら、一人親家庭でお子さんを育て、お子さんと自分の仲間の輪をどんどん広げていき、NPO法人まで立ち上げられて、本当にすばらしいと思いました。

・日々いろいろある中で、こんなふうに考え行動している「父親」にとても希望がもてました。お話しの中で「家庭で起こっていること」は「社会環境の課題」に全く同感です。それでも社会は随分変わってきていますが、変えていくのは一人一人の声だと思いました。とてもいいお話をありがとうございました。

⑥ 11/29　みんなで有井さんのカレーを食べようⅡ

「子どもが食べておいしい、大人も食べておいしい」子どもが大好きな料理と言えばやはりカレー、家庭料理の定番を本格的に提供したいと思い、カレーの名店を何十件も食べ歩き、試作を重ねオリジナルの欧風カレーを仕上げました。

現在は昨年の２月～間借りでカレー屋をしており、理事長とご縁をいただき、くるみのおうちでカレー屋を開かせていただきました。まごわやさしいカレー（牛すじベースの特製カレー）、日替わりカレー、合いがけカレー、焼きカレー、トッピング各種、デザートをご用意し準備万端！自信を持って作っておりますが、初めてのお客さんの前では少々不安。一口食べてすぐ、「おいしいっ」の声が聞こえてくると、小さくガッツポーズです。また、さらに喜んでいただけるカレーや料理をご用意し、伺えたらと思います。

（店主　有井）

⑥ 12/26　休眠預金活用についてのシンポジウム

内閣府主催の休眠預金に関するシンポジウムが山梨県で行われ、内閣府のプレゼンの中でくるみ－来未の取り組みをご紹介いただきました。

2019年末にこの休眠預金の仕組みをご紹介頂き、認定NPO法人まちぽっと様の助成金プログラムに申請。2020年3月の選考会で助成先として選考いただきました。早いもので、それからもう１年ほど経ちます。コロナ禍もあり右往左往しながら、様々な混乱がありながらも、みなさまのご協力により何とかここまで事業活動を続けることができました。

コロナ禍により社会の分断や孤立化が進んでいると言われます。身近なところでも困った状況にある方の声を大変多く耳にします。この休眠預金を活用した助成制度がもっと幅広く周知され、優れた事業活動が多く生まれ、成長し、根付くことにより、厳しい社会状況を少しでも和らげることにつながるよう、くるみも微力ながら、努力していきます。（太田）

当日紹介されたスライド

本シンポジウムの概要は
右のQRコードからご覧ください

■11/1～2/18にご寄附いただいたみなさま（敬称略）

安西美和子	村岡正俊
粟野辰郎	森真佐乃
礒尚子	山崎梨紗
梅北紀子	山元佳奈子
大澤洋子	横井史恵
太田修嗣	
岡安玲	
大日方輝之	
佐藤由加里	
高橋香	
轟木洋子	
成田孝子	
光冨真希子	

くるみの運営を支えて下さり、
ありがとうございます。
引き続きよろしくお願い致します。

「デジタルアート」の参加者作品

■スタッフＮのつぶやき

くるみのおうちも二度目の冬を迎えました。オープンハウスで皆様にお披露目させていただく頃からコロナがじわりじわりと影響し、当初はレンタルスペースの様な使い方も検討しておりましたが、実際はこじんまりとしたイベントを行うに留まってしまいました。

それでも皆様に快適にお使いいただけるようにテーブルを増やしたり、災害時にも使えるようにダルマストーブを購入したりしております。

とは言え、季節はもうすぐ春🌸。眠っていた草花も一気に芽吹き始めます。私たちも元気に前に進みましょうね(＊＾▽＾＊)